

英米言語研究Ⅱ (その1)

2単位 3年(前期)

元木美男, 山田仁子・准教授/人間文化学科

【授業目的】 イギリス史と関連させながら古期・中期英語を中心に現代までの英語の歴史を通観する。

【授業概要】 英語史研究

【キーワード】 ノルマン・コンケスト, ラテン語, 語源

【関連科目】 『英米言語研究Ⅰ (その1)』 (0.5), 『英米言語研究Ⅰ (その2)』 (0.5)

【到達目標】

1. 英語は古いところでは現代のドイツ語と同じような語尾変化をし、時代が下ると共に次第に語尾が消失し、今日のような語順を大切にする言語となった。また語彙においては、全体として、比較的純粋なゲルマン語彙から、ノルマン・コンケストを契機にロマンス語彙を増大してゆき、今日に見るような語彙の豊富さを獲得していった。
2. 以上のような英語の歴史について理解を深める。

【授業計画】 前期は専ら英語史の概説に重点を置き、後期は具体的にラテン語、古期・中期英語の文法を教科書を使用しながら詳述する。

【成績評価】 レポート及び期末試験。

【再試験】 行なう。

【教科書】

- ◇ 教科書: Sweet's Anglo-Saxon Primer 千城
- ◇ 松平千秋・国原吉之助共著 新ラテン文法 東洋出版
- ◇ 参考書: Albert C. Baugh: A History of the English Language

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218376>

【連絡先】

⇒ 元木 (オフィスアワー: 金曜日 14:30~ 15:30)

⇒ 山田 (hitokoy@yahoo.co.jp) MAIL (オフィスアワー: 木曜日 10:20~11:20)